

### 子どもの医療費助成に係る国民健康保険の 国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書

地方自治体では、地域の実情に応じ、従来より工夫を凝らした様々な少子化対策に真剣に取り組んできたところである。特に、子どもの医療については、すべての地方自治体において、子育て家庭の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう、医療費の自己負担を補助する地方単独の医療費助成を実施している。

今、国を挙げて少子化に伴う人口減少問題に全力で取り組むべき時である。この減額調整措置は、少子化対策という国の大方針と逆行するものである。子どもの医療に関わるセーフティネットは、本来、国が責任をもって、社会保障政策の中に位置づけ、自ら制度を構築すべきものであるにもかかわらず、こうした減額調整措置を行うことは、地方自治体による少子化対策の取組を阻害していると言わざるを得ない。

こうした中、国においては、「子どもの医療制度の在り方等に関する検討会」を立ち上げ、子どもの医療費の自己負担の在り方や国民健康保険の国庫負担の在り方を含め検討を行うこととしている。

少子化対策は、国と地方自治体が総力を挙げて取り組むべき喫緊の課題である。

よって、国においては、これまでの地方の取組を評価し、まずは国民健康保険国庫負担金等の減額調整措置を速やかに廃止するよう求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月17日

熊谷市議会

《意見書提出先》衆議院議長様、参議院議長様、内閣総理大臣様、総務大臣様、財務大臣様、厚生労働大臣様、内閣特命担当大臣(少子化対策)様

#### ラグビーワールドカップ2019 まちづくり特別委員会視察報告

ラグビーワールドカップ2019まちづくり特別委員会では1月14日・15日の2日間にわたり行政視察を行いました。初日には茨城県取手市で「アートのあるまち推進事業(取手アートプロジェクト)」について視察しました。またなかにはオブジェや絵画が溢れ、市民だけでなく、取手市を訪れる人々にも歩いて楽しいまちとなっていました。ワールドカップ開催時に多くの人が訪れた際、楽しいまち歩きを演出する手

法の一つとして参考になりました。翌15日には富山県氷見市で「春中ハノンドの取り組み(市民との協働によるハンドボール全国大会の開催と選手の育成)」について視察しました。ハンドボール選手の育成や市民全員が関わる大会運営など、ハンドボールのまちを目指す姿はラグビータウン熊谷を盛り上げていくためにも参考になりました。



取手アートプロジェクト

#### 地方創生調査

##### 特別委員会視察報告

地方創生調査特別委員会では、1月12日・13日の2日間にわたり行政視察を行いました。

初日には、滋賀県長浜市の「長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について視察を行いました。平成27年6月に策定した総合戦略に基づき、地域の課題解決と活性化に取り組んでいると説明を受けました。

翌13日は、愛知県蒲郡市商工会議所で「うどんサミット」について視察を行

いました。全国のご当地うどんを集めたうどんサミットは、地域が一つとなつて、まちの活性化に取り組んだ事例として捉えてもらえればありがたいと説明を受けました。両日とも情報交換や質疑を行い、先進事例の研究を行いました。



長浜市での視察